

価値創造プロセス

朝日生命は、生命保険事業が社会保障制度とともに社会を支えていく重要な使命を担っており、事業活動そのものが企業としての社会的責任を果たす重要な活動であるとの認識のもと、サステナビリティ経営を推進することにより、社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に向けた価値を提供していきます。

使命 (Mission) = 朝日生命グループミッション

一人ひとりの“生きる”を支え続ける

インプット

価値創造の源

- 財務資本

 - 総資産 (連結) 5兆3,174億円
 - ESR (グループ) 257.6%
 - ソルベンシー・マージン比率 (連結) 1,051.5%
- 人的資本

 - 従業員数 19,187名
 - うち営業職員数 15,008名
 - うち職員数 4,179名
 - 女性管理職比率 30.8%
- 社会・関係資本

 - お客様数 (グループ) 303.5万名
 - 営業拠点数
 - 統括本部・統括支社・支社: 58拠点
 - 営業所: 554拠点

知的資本

創業以来135年以上にわたる歴史と経験・実績で支えられる確かなノウハウ

●「総資産」「ESR」「ソルベンシー・マージン比率」「従業員数」「お客様数」: 2024年度末時点 ●「女性管理職比率」「営業拠点数」: 2025年度始

ビジネスモデル

サステナビリティ経営

中期経営計画 (2024-2026年度) 「ネクストA」

- お客様一人ひとりに最適な商品・サービスの提供
- 2030年以降も持続的に成長するビジネスモデルへの変革の加速
- 予測困難な事業環境変化 (VUCA) に向けた検討・対応の推進
- 資産運用戦略・リスク管理態勢

重点取組
テーマ

- 人的資本経営
- DX戦略

社会課題の解決に向けた重点項目 (マテリアリティ)

- 保険商品・サービスの提供を通じた社会課題の解決 ▶ P.38
- 資産運用を通じたグローバルな社会課題の解決 ▶ P.56
- 気候変動対策を中心とした環境保全 ▶ P.60
- 地域医療・福祉への貢献、社会貢献 ▶ P.66
- 人財活躍 ▶ P.70
- 人権の尊重 ▶ P.82

朝日生命が捉える社会課題

- 要介護、認知症患者数増加による介護問題の深刻化
- 医療の進歩による医療費増大
- 健康寿命の延伸
- 気候変動による環境変化

2030年のありたい姿

人生100年時代を迎え、生命保険事業を通じて、
社会の課題解決に貢献する会社、
お客様の“生きる”を支え続ける会社

アウトカム

事業活動が目指す目標

中期経営計画 (2024-2026年度) 「ネクストA」経営戦略目標

- グループお客様数 314万名
- グループ保障性商品の
新契約年換算保険料 385億円
- グループ保障性商品の
保有契約年換算保険料 3,600億円
- グループ ESR 220～260%

責任投資の推進目標

- PRI 評価
ポリシー・ガバナンス・戦略
☆5 (最高評価)
委託資産 (株式・債券投信等)
☆4 以上
- ESG テーマ型投融資
残高 2,400億円

温室効果ガス排出量削減目標

- 2030年度中間目標
生命保険事業
2020年度比 △50%
投融資ポートフォリオ
2020年度比 △39%
- 2050年度目標 ネットゼロ

アウトプット

社会課題の解決に
貢献する事業活動

保険商品・サービスの提供

- 幅広いお客様に対する保険グループを通じた最適な
チャネルによる最適な保障の提供
- 社会の変化に適應した、誰もが利用可能な
「早くて」「簡単」「便利」なサービスの提供

資産運用

- 安全性・有利性ととともに、
社会性・公共性にも十分配慮した資産運用

気候変動対策

- 温室効果ガス (GHG) 排出量削減に向けた取組み
- 投融資先企業の GHG 排出量削減、環境保全に向けた
対話の推進